

令和5年度 徳島県立富岡西高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和5年12月13日(水) 午後3時30分から午後4時45分まで

2 場所 富岡西高等学校 創立百周年記念館

3 会次第

(1) 学校運営協議会 会長挨拶

(2) 富岡西高校 校長挨拶

(3) 報告

①本校の現状と課題について

新見校長が、本校の現状と課題について説明。

②中学生体験入学、進学説明会等報告

四宮教務課長が、中学生体験入学、中学校への進学説明会、学校公開について、参加状況や当日の様子について報告。

③現在の進路状況・進路指導について

長瀬進路指導課長が、現時点の3年次の進路状況、長期休業中の補習、スタディサプリの活用状況について説明。

④SSHの取組、地域連携について

中村SSH課長が、「TN-SCOPE」第11号をもとに、4月から8月のSSHの取組について説明。

田中国際課長が、台湾国立新化高級中學との姉妹港締結・交流について説明。

⑤夏以降の部活動等の結果について

宮本教頭が、夏以降の体育部・文化部の活動や主な戦績・表彰等について報告。

⑥長寿命化工事の進捗状況について

長寿命化工事の進捗状況について、小綿事務課長が説明。

【報告内容についての質問・意見】

○学校公開について、例年の週休日から今年は平日5日間の開催に変更したが、例年と比べてどうだったのか。

(回答) 参加者は例年よりは減少した。

○中学校の立場としては、参加については中学・高校で連携をとりながら、生徒にとって意義のあるものにしていきたいと考えている。

(4) 協議

「富岡西高校の特色化・魅力化」について

宮本教頭が、「本校の学校経営方針」をもとに、本校のスクール・ミッション、学校経営の基本方針について説明。スクールポリシーとして、「質実剛健」「文武両道」「SSH」「地方創生」「台湾交流」「挨拶」をキーワードに挙げているが、このことも踏まえて、各委員の方々より助言等をいただきたい。

(5) 各委員からの助言等について

(ア) SSHは、富西が今後も大切に取り組んでいくべき事業である。課題研究は生徒の進路実現にもつながっているし、近隣小学校への生徒との出前授業などの新しい取組も、生徒の意欲を引き出すよい活動である。

(イ) 富西は教員の協力体制がよいので、進路指導課長が学年主任を通して仕掛け作りをしていくことによって、より進路実績が上がるのではないか。

(ウ) 国際化という視点から、英語検定などの資格取得にも力を入れていくとよい。

(エ) 本日、台湾の生徒との交流授業を参観して、生徒たちの本当に楽しそうで元気な様子が伝わってきた。こういう生徒たちの楽しそうに活動している様子をもっともっと発信すれば、富西の魅力が外部に伝わるのではないか。

(オ) 生徒の自主性を伸ばしたいのなら、生徒会活動をもっと活発にするとよいのではないか。また、教員が楽しそうに活動している姿を生徒たちに見せることも大切で、生徒たちが触発され、より自主的な活動につながると考える。

(カ) 「特色・魅力」というのは、取り組みの結果としてでき上がるものである。生徒が本当にやりたいことを見つけて、一生懸命取り組むことで道は開かれる。高校で、そういうものを見つけられるように支援していくことが必要である。

(キ) 台湾交流は、生徒たちが世界に目を向ける仕掛けとして、非常によい取組である。日本人は井の中の蛙になりがちなので、目を開かせ、視野を広げるためにも、今回の台湾交流のような機会は必要である。

- (ク) 企業の立場から言うと、高学歴の人が必ずしも仕事ができるわけではない。
しかし、学歴によって、配属先や与えられる仕事、スタートラインが変わってくるという現実には確かにある。学校の取組として、着実な学力を保障すること、いろいろな経験をさせることのバランスが必要である。
- (ケ) いちばん駄目なのは「動かないこと」である。動いて失敗するかもしれないが、挑戦することが大切。校長の、学校を変えようとする意志が強く感じられるので、教員もそれに乗って、富西を変えていってほしい。教員が挑戦することによって、生徒や学校が変わっていく。変わっていかないと、世界についていけない。
- (コ) 世の中の変化は予測不能である。台湾交流は、「多様性」がキーワードになる。お互いの多様性を認めながら協働し、違いの中から新しい価値を見いだすことができるようになってほしい。
- (サ) 子どもたちのために、台湾交流のような機会を作ってもらってありがたい。「台湾交流」や「中国語の学習」も、富西の特色・魅力化のひとつにすればよいのではないかな。
- (シ) 国際交流や部活動の場では、生徒の顔が輝いていると思う。一方で、教員側で生徒の主体性に欠けるという認識が出てくるのはなぜか。生徒が二極化している現状があるのではないかな。
- (ス) 学校方針の中に、「国際化に対応する力」を入れるとよいのではないかな。
- (セ) いろいろな力を持った子どもたちがいるので、それを教員が発見する力をつけてほしいし、子どもたちの可能性を広げてほしい。
- (6) 校長 お礼あいさつ